

大阪府 環境農林水産総合研究所 ニュース



本部・環境科学センター

index

- ・ 所長のご挨拶
- ・ 当研究所のご案内
- ・ 各部のトピックス（食の安全研究部・水産研究部・環境情報部・農業大学校）
- ・ 当研究所発足記念シンポジウムのご案内
- ・ 当研究所発行メールマガジンのご案内

大阪府環境農林水産総合研究所発足のごあいさつ

所長 吉田 敏臣

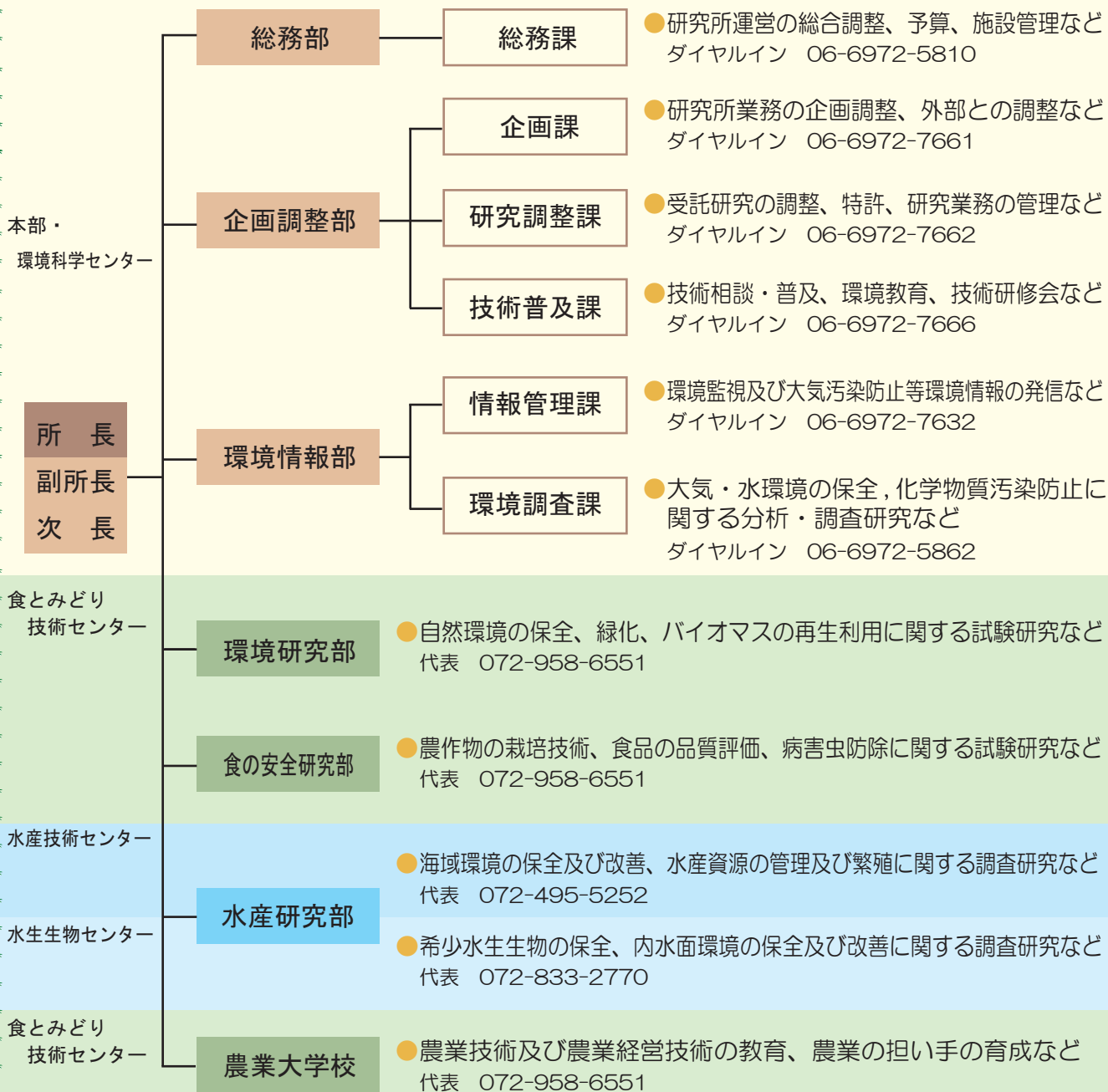


大阪府環境農林水産総合研究所の発足にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。
大阪府の3つの試験研究機関、「食とみどりの総合技術センター」、「環境情報センター」、「水産試験場」を統合して、「豊かな環境の保全及び創造、農林水産業の振興並びに安全で豊かな食の創造を図る」機関として、平成19年4月1日に当研究所は発足いたしました。

環境問題では、物理的・化学的のみならず生物的手段も組み入れた対策が、農林水産分野でも、環境面からの対策が必要となっております。このように、環境・農林・水産に関わる諸問題の解決を図る試験研究のためには、多くの分野の人材を横断的に組織して、種々の分野の科学・技術を結集していく必要がでてきました。

そのような要請に応えるべく本研究所は、戦略的研究の企画立案、研究部門における適材適所の人材登用と効果的な研究の推進、現場の課題解決に有効な手段・手法の案出・考案、それら研究成果の普及や実用化の加速等を図っております。さらに、運営のモットーとして、「挑戦」、「連携」、そして「共有」を掲げております。国家プロジェクトへの参画、新しい研究分野への進出、農林水産業や環境産業における新たな展開への技術支援にも積極的に「挑戦」し、大学や他の試験研究機関、府民、NPO、関係団体等との「連携」を進め、府民や関係団体のニーズの的確な把握と調査研究成果の各主体への発信など双方向性の情報「共有」を図って行きます。なお、当所の運営についての詳細な内容につきましては、ホームページ（<http://www.epcc.pref.osaka.jp/reaf/>）上に中期計画を載せておりますので、ご覧ください。

最後になりましたが、府民・関係団体の皆様には、今後ますます本研究所との「連携」と「共有」をお願いし、私のごあいさつとさせていただきます。



〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3-62
TEL 06-6972-7661(企画課)
JR環状線・地下鉄中央線・鶴見線
「森ノ宮」から300メートル



〒583-0862 羽曳野市尺座442
TEL 072-958-6551 FAX 072-956-9691
近鉄南大阪線「藤井寺」から近鉄バスで
「羽曳が丘8丁目」下車、500メートル
「古市」からタクシーで7分
南阪奈道路「羽曳野」出口すぐ



〒599-0311 泉南郡岬町多奈川谷川12926-1
TEL 072-495-5252 FAX 072-495-5600
南海電車「多奈川」からみさきミニバスで
「谷川」下車、500メートル
南海本線「みさき公園」からタクシーで10分



〒572-0088 寝屋川市木屋元町10番4号
TEL 072-833-2770 FAX 072-831-0229
京阪本線「香里園」から1500メートル

食の安全研究部

革新的なイチジク樹形の開発を目指します。

イチジク栽培では、約 20 年前に発表された「一文字整枝」という樹形が普及しています。しかしながら、主枝や果実の着く位置が低いため、作業時の足腰への負担、凍害、採光不足による果実品質の低下など、この樹形特有の課題も多く残されています。そこで、食の安全研究部では、これらの問題を一挙に解決するため、全く新しい樹形を本年度から 4 年計画で開発します。また、考案している新樹形では、今般当所で開発した株枯病に強い台木の能力も発揮できるよう予定しています。



現代の一文字整枝法が抱える多くの課題

新樹形で
一挙解決

水産研究部

貝毒プランクトンの調査研究をしています。

海の微小プランクトン（浮遊生物）には毒を持つ種類があります。このようなプランクトンが増えると、それを食べる二枚貝などが毒（貝毒）を持ちます。今年、大阪湾では 4 月中旬から 5 月上旬にかけて、このプランクトンがたくさん増え、アサリ等の二枚貝が毒化しました。大阪湾での貝の毒化は、平成 14 年、平成 18 年に次いで 3 回目です。水産研究部では、貝毒による食中毒を未然に防ぐため、原因プランクトンの発生を常に監視し、貝の毒化を予測しています。また、原因プランクトンの生理、生態を調査することで発生機構の解明に取り組んでいます。



貝毒の原因プランクトン
：アレキサンドリウム・タマレンセ

環境情報部

微小粒子状物質の調査を実施してます。

大気中に浮遊する直径 $2.5 \mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質（PM2.5）は、肺がんやぜんそくの主な原因として疑われており、国において環境基準の設定も視野に入れた検討が進められています。環境調査課では、府域における微小粒子状物質の汚染実態把握のためのモニタリング調査等及び、肺がん等の原因物質と考えられる酸化多環芳香族炭化水素の分析方法の検討を行っています。情報管理課では、3 地点で PM2.5 の連続自動測定を実施し、さらに測定地点の増加を検討しています。これらの調査結果から発生源や季節毎の影響について解析を行い、PM2.5 への対策を考えていきます。



分析（上）と
連続自動測定（右）

農業大学校

「短期プロ農家養成コース」を開設してます。

農業大学校では社会人を対象に、兼業農家や新規就農を目指す人が農業技術を学べる「短期プロ農家養成コース」を開設しています。毎週 1 回程度開催する野菜コース・果樹コースと初心者向きの入門コースに分かれており、今年は約 80 名程度の方が受講されています。講師は農業技術指導の経験豊富な農業改良指導員の資格を持った職員があたり、農業大学校のほ場を活用して、きめ細かで充実した講義・実習を行っています。本コースは開設して今年で 3 年目となりますが、府民の関心も強く、毎年募集定員を上回る応募があります。



イベント情報

現在公募中

6月22日（金）

大阪府環境農林水産総合研究所発足記念シンポジウム

ー連携と挑戦・新たな出発に際してー

内 容：

基調講演「稲作漁労文明が地球と人類を救済する」

国際日本文化研究センター教授

安 田 喜 憲 氏



パネルディスカッション「大阪府環境農林水産総合研究所への期待」

コーディネータ 大阪府立大学生命環境科学研究科教授 増田 昇氏

パネラー 国土交通省近畿地方整備局 阪井田 茂氏

大阪大学大学院工学研究科教授 池 道彦氏

サトレストラシステムズ（株）統括マネージャー 箕裏 勝彦氏

NPO 法人 ONE WORLD for children 理事長 松本 一美氏

プレゼンター 大阪府環境農林水産総合研究所次長 榎 幹雄

時 間：13:00（開場）13:30ー17:00

ところ：大阪府新別館北館4階多目的ホール

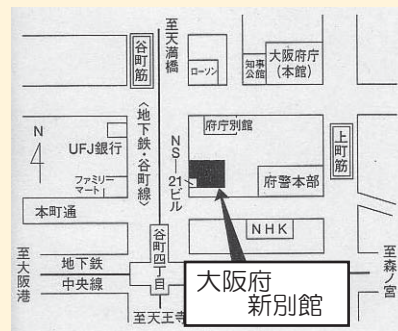
（地下鉄谷町線谷町四丁目①A 出口徒歩 1-2 分）

定 員：300 名（入場無料）

申込み：TEL 06-6972-7661 FAX 06-6972-7685

メール planning@mbox.epcc.pref.osaka.jp

（FAX・メールの場合、「記念シンポジウム希望」と
お書きの上、所属・氏名をご記入ください）



今後の公募予定

7月 29-30 日（日 - 月） 夏休み海の教室（調査船による海洋観測、栽培漁業体験など）小中学生対象

7月 31 日（火） なぎさの楽校（府内の自然海浜で生き物観察など）小中学生対象

8月 7 日（火） 農とみどりの教室（虫の寝床の堆肥作りと農作業体験など）小中学生対象

未 定 かわべの楽校（自然の宝庫であるわんどで淡水生物の観察など）小中学生対象

各種イベントの最新情報は、当所ホームページをご覧ください。

当所発行メールマガジン情報

おおさかアグリメール：農業の技術情報を送付する携帯電話対応のメールサービスです。

環境技術情報メール配信サービス：環境技術に関する最新情報や技術講習会の案内などを随時お届けします（企業向け）。

光化学発令情報配信サービス：大阪府域に光化学スモッグ注意報等が発令された時にメールを送信いたします。

水産技術センターメールマガジン：センターのイベントや大阪湾の環境や生き物に関する情報をお届けします。

各種メールマガジンは、当所ホームページからご登録ください。

発行・編集（No.1: 平成19年5月31日発行）

大阪府環境農林水産総合研究所 企画調整部 企画課

〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3-62

TEL:06-6972-7661 FAX:06-6972-7685

ホームページ：<http://www.epcc.pref.osaka.jp/reaf/>

